

must と have to の意味と違いとは？ 使い方と例文をわかりやすく

mustの意味と使い方と例文

mustには義務や必要を表す「～しなければならない」という意味がある。
文の構造は「主語 + must + 動詞の原形」となるよ。

単元は「助動詞」になるから、canやwillと同じように使うんだ

構成：主語 + 助動詞 + 動詞の原形

肯定文：You must come home early.

例文

- ・ You must come home early. (あなたは早く家に帰らなければならない)
- ・ He must stay with us. (あなたは私たちと一緒に滞在しないと)

助動詞のあとは動詞の原形になるから三単現は関係ないね！

肯定文：You must come home early.

否定文：You must **not** come home early.

mustの否定はmust notになり、「～してはいけない」という禁止の意味を表すんだ。



must notは略して「mustn't」(マスト)という一語にすることもできる。
テストで穴埋めの際には空欄数に注意しよう。

例文

- ・ You must not go out alone. (あなたは一人で外出してはいけない)
- ・ You must not make a fire.(火を起こしてはいけない)

[balloon id="1"]禁止を表す表現はもう一つあったよね。「Don't」に置き換えることもできるんだ。[/balloon]

- ・ You mustn't go out alone. = Don't go out alone.
- ・ You must not make a fire. = Don't make a fire.

命令文なので、主語はいらぬことに注意しよう

mustの疑問文

肯定文： You must come home early.

疑問文： Must I come home early?

mustを使った疑問文は「～しなければなりませんか」という意味になる。
文の構造は「Must + 主語 + 動詞の原形」という形になるよ。

例文

- ・ Must I stay at home? (私は家にいなければなりませんか)
- ・ Must I walk to school? (私は学校に歩いていかなければなりませんか)



have toの意味と使い方と例文

構成：主語 + have to + 動詞の原形

肯定文：You have to come home early.

have toも義務の意味を表して「～しなければならない」という意味になる。

例文

- ・ I have to speak English. (私は英語を話さないといけない)
- ・ You have to go home right now. (あなたはすぐに帰らないといけない)

そして注意点としてはmustと違ってhave toは 三人称単数の影響を受けるんだ。

だから、主語が三人称単数(he, she など)の時には「has to」になることに注意しよう。

例文

- ・ He has to play the piano. (彼はピアノを弾かなければならない)
- ・ She has to walk to school. (彼女は歩いて学校に行かなければならない)

時制

mustは助動詞だから過去形にすることができないんだけど、have toはhaveを過去形にしたhad to、未来を表すwillを足してwill have toのようにすることができるんだ。

- ・ You have to speak English. (英語を話さなければならぬ) ⇒ 現在形
- ・ You had to speak English. (英語を話さなければならなかった) ⇒ 過去形
- ・ You will have to speak English. (英語を話さなければならぬでしょう) ⇒ 未来形



have toの否定文

肯定文：You have to come home early.

否定文：You don't have to come home early.

have toの否定文は「don't have to」という形になるんだ。
日本語にすると「～しなくてもよい」という意味になるよ。

例文

- ・ I don't have to speak English. (私は英語を話さなくてもよい)
- ・ You don't have to go home right now. (あなたは今すぐ帰らなくてもよい)

mustと違ってhave toは三人称単数の影響を受けるんだ。

だから、主語が三人称単数(he, she など)の時には「doesn't have to」になることに注意しよう

例文

- ・ He doesn't have to play the guitar. (彼はギターを弾かなくてもよい)
- ・ She doesn't have to check my notebook. (彼女は私のノートを確認しなくてもよい)



時制

否定文でも同じように時制があるね。

have toの場合、普通の動詞の否定文のようになるんだ

現在形 = don't have to

過去形 = didn't have to

未来形 = will not have to

- ・ You don't have to speak English. (英語を話さなくてもよい) ⇒ 現在形
- ・ You didn't have to speak English. (英語を話さなくてもよかった) ⇒ 過去形
- ・ You won't have to speak English. (英語を話さなくてもよいでしょう) ⇒ 未来形

have toの疑問文

肯定文： You have to come home early.

否定文： **Do** you have to come home early?

have toの疑問文は一般動詞の疑問文と同じように、「Do + 主語 + have to」と聞くんだ。
日本語にすると「～しなければなりませんか？」と尋ねるよ。

例文

- ・ Do I have to stay at home alone? (私は一人で家にいなければなりませんか)
- ・ Do I have to get up early tomorrow? (私は明日朝早く起きなければなりませんか)



mustとhave toの違いと例文

mustとhave toを比べると

「mustは主観的な義務」で
「have toは客観的な義務」

という違いがある。

I must study English. と言うと「英語の大会があるから自らの意思で勉強しないとイケないと思
っている」

I have to study English. と言うと「宿題が出されたからやらないとイケない状況にある」

と言うように、自分自身の意思による義務=must、状況的な義務=have toと言うようになるん
だ。

| must | have to |
|-------------------|------------------------|
| 主観的 | 客観的 |
| 自分の意志による義務 | 意志に関わらない 状況的な義務 |
| 現在形しかできない | 現在形・過去形・未来形にできる |
| 主語に関わらずいつも同じ形 | 主語によって has to に変わる |

例文

- ・ You must finish homework today.
⇒あなたに対して私の意志で終わらせるように伝えている(強制)
- ・ You have to finish homework today.
⇒提出期限があるから終わらせないとイケない

否定文はもっと違っていて、意味が変わってしまうんだ。

同じ義務の否定なんだけど、must notとdon't have toでは日本語にしたときに意味が
変わる。



mustの方がhave toより強制力が強い。それが否定文にも表れている。

must not = ~してはいけない (禁止)

don't have to = ~しなくてもよい

例文

- ・ You mustn't finish homework today.
⇒ 今日宿題を終えてはいけない
- ・ You don't have to finish homework today.
⇒ 今日宿題を終えなくてもよい

学校ではもしかしたらmust = have toと習うかもしれないけれど、実際はそれぞれ特徴があるんだ。

違いを知って使い分けられるようにしておこう！

